



「プール開き」泳ぐ姿も

子ザル涼しくびりびり



高崎山自然動物園

【大分】大分市神崎の高崎山自然動物園に、夏恒例の「おさるのプール」が登場した。8月31日まで元気がつばいの子ザルたちが水遊びを楽しむ姿を見ることができ、同園は毎年、気温が高くなる



夏に合わせた、寄せ場の池に毎朝、水を張ってサルが涼めるようになっている。16日は、開園の午前9時に合わせて水を入れると、寄せ場に姿を現したC群(279匹)の子ザルたちが水しぶきを上げて

飛び込み、噴水に手をかざしたり、顔を付けて泳いだりと思いきいの水遊びを楽しんでいた。愛媛県今治市から家族5人で訪れた村上嘉弥乃ちゃん(6)は「泳ぐサルを初めて見た。とっても気持ち良さそうでいいな」と話していた。同園によると、プールで遊ぶのは子ザルが中心で成獣は、ぬれるのを嫌がる傾向にあるという。(安里葉冬)

〔問①〕 おさるのプールが登場したのはなんとという動物園ですか。

〔問②〕 プールでサルたちが楽しむ様子が書かれている文章を60字以内で抜き出しましょう。

〔問③〕 プールで遊ぶのは子ザルが中心だそうです、それはなぜですか。